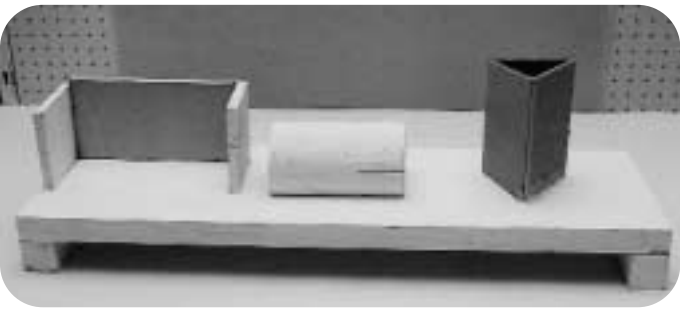


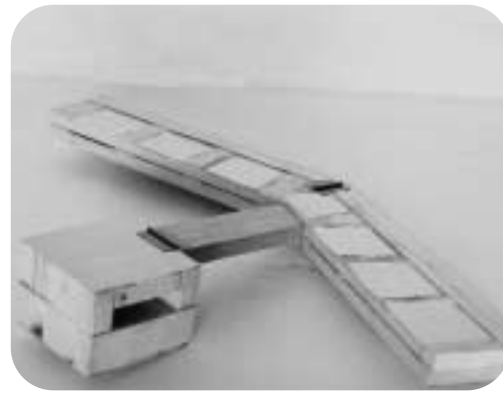
# 2007津別ウッドクラフト展



池森 美矩さん(津別町)

講評：シンプルですが、小物入れなどいろいろ活用できそうでなかなかいい作品です。白と青の色合いもさわやかです。

子どもの部優秀賞  
「〇△□3セット」



岩崎 勝悟さん(津別町)

講評：自分で必要とする物は、自分で作るという原点の作品です。愛着をもって、ゲームを楽しめそうです。

子どもの部優秀賞  
「デュエルディスク」

大人の部優秀賞  
「灯りの小物入れ 月」



子どもの部優秀賞  
「笑顔のつまった写真たて」



鈴木 翔平さん(北見市)

講評：木の葉、木の切り口、枝などの素材を上手に使っています。飾りも工夫されており、左右非対称のバランス感覚が優れています。

大人の部優秀賞  
「私だって飛びたい」



萩野 敏子さん(北広島市)

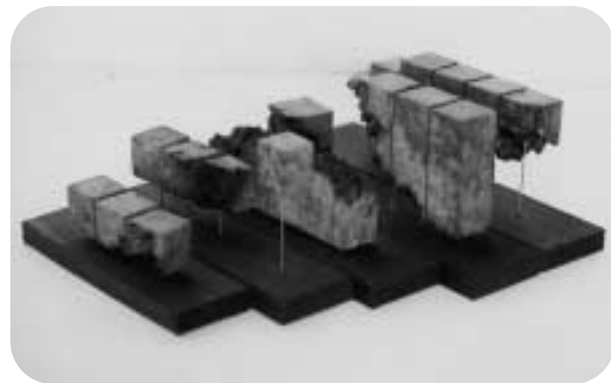
講評：木のうねりを生かしつつ、曲線を組み合わせた手法が絶妙です。よくできた作品です。



いこいこ収納ができます

饗庭 弘治さん(奈良県平群町)

講評：灯りの工夫がやわらかさを演出し、居間を彩るイメージがあります。カギを入れるなど、家族みんなで使え欲しいと思わせる作品です。



吉田 英敏さん(北広島市)

講評：一つの個体から生み出した造形力が非常に高い作品。切っただけですが、普通では考えつかない素晴らしい感性です。

大人の部優秀賞  
「森の気憶」

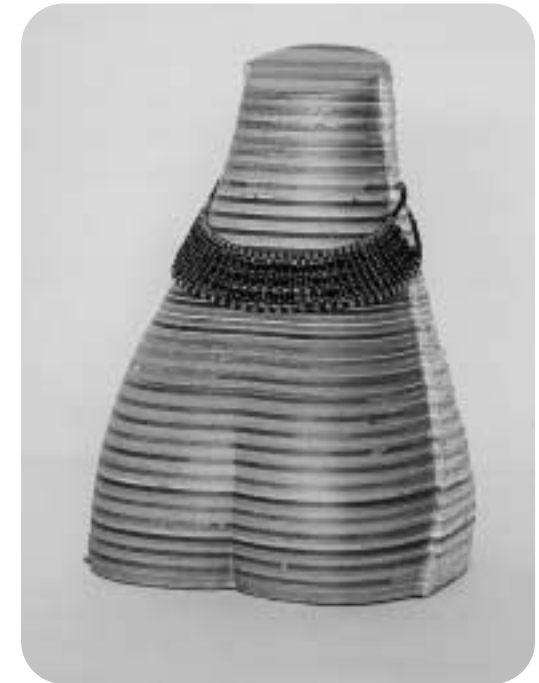
子どもの部最優秀賞  
「馬の花子」



竹内 ゆきのさん(岐阜県飛騨市)

講評：丸太をうまく活用しています。表情もかわいい作品でネーミングもほのぼのとします。原木を使って「愛林のまちつべつ」を想像させる作品で一生懸命作った雰囲気を感じさせます。

大人の部最優秀賞  
「テタテューラ」  
(teta-tura)



岡崎 功さん(東川町)

講評：木目のグラデーションの素晴らしさもさることながら、加工技術に目を見張ります。女性を想像させる曲線もきれいでやわらかさも新鮮です。造形的、鑑賞的にも素晴らしい作品です。

愛林のまち・津別町の木工コンテスト「ウッドクラフト展」10回目となる今回のテーマは「居間を彩る木の用品」です。今回は全国各地からテーマに沿った36点の作品が寄せられました。審査の結果、入賞した10点の作品をご紹介します。

講評：アイディア作品です。飾り物にも記念品としてもユニークで商品としてもよいと思います。実用性を重視した作品です。

竹内 晃一さん(岐阜県飛騨市)



審査員特別賞  
「野球少年に贈る」



鈴木 真理さん(北見市)

講評：細部にわたり手が込んでいます。小物入れに使うには最適な作品です。

審査員特別賞  
「ピアノボード」